



本邦医療機器メーカー

パナソニックヘルスケアホールディングスへの出資参画

2016年11月18日
三井物産株式会社

案件主要点

1. 案件概要
2. 血糖値自己測定器事業市場の環境認識
3. PHCHD社概要、血糖値測定器事業概要
4. 血糖値自己測定器事業の競争優位性
5. 三井物産による企業価値貢献



1. 案件概要

本邦医療機器メーカーである、パナソニックヘルスケアホールディングス（「PHCHD社」）へ出資参画するもの

当社持分	22%
当社出資金額	約541億円
出資実行時期	2017年3月期中(予定)

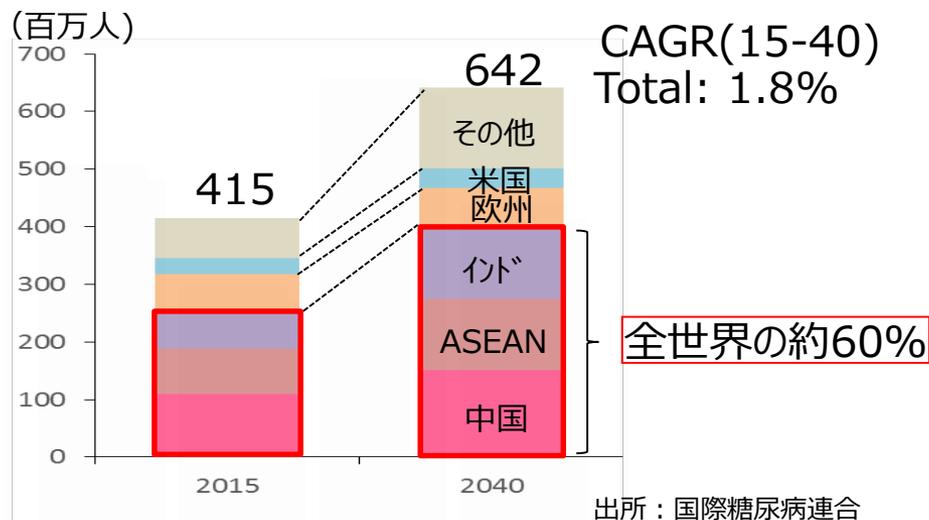
< 戦略的位置づけ >

- PHCHD社のアジア市場における成長を実現
- 当社ヘルスケア事業の更なる収益基盤強化
- 患者にとって利便性の高いヘルスケアエコシステムの確立



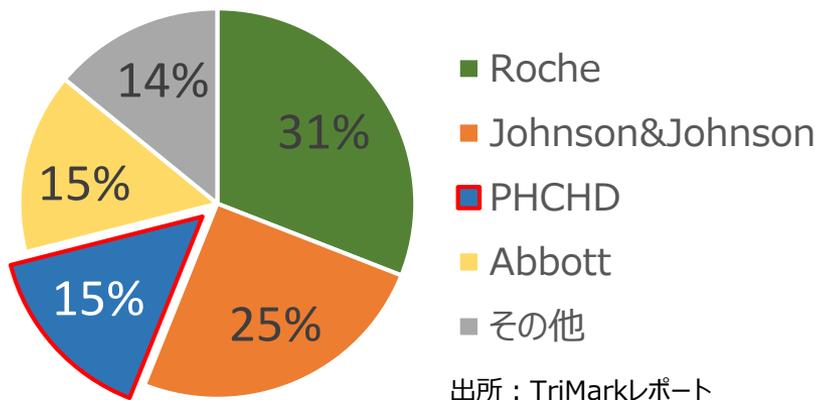
2. 血糖値自己測定器事業市場の環境認識

グローバル糖尿病患者数



- 糖尿病患者は世界的な生活習慣病増により、大幅な増加傾向
- アジアの糖尿病患者人口は全世界の約60%を占める

グローバル血糖値自己測定器市場シェア



- グローバル血糖値市場は上位4社で86%を占める寡占市場
- シェアの変化は限定的



3. PHCHD社概要、血糖値自己測定器事業概要

〈PHCHD社概要〉

設立	2014年
本社所在地	東京都港区
代表者の氏名/役職	小谷秀仁(代表取締役社長)
売上高(連結ベース)	1,850億円 (2017年3月期見込み)
総資産(連結ベース)	3,599億円 (2016年3月期実績)

〈血糖値自己測定器事業 概要〉

- 2016年1月に取引先であったBayer Aktiengesellschaft(バイエルアクティエンゲゼルシャフト)グループの糖尿病ケア事業を買収
- 血糖値診断薬の製造と販売を担うリーディングカンパニー2社の統合により、糖尿病ケア分野におけるグローバルトップクラス



4. 血糖値自己測定器事業の競争優位性

- 世界125カ国に亘る販売網

Bayer Aktiengesellschaft(バイエルアクチーエンゲゼルシャフト)グループの糖尿病ケア事業の買収(新会社名Ascensia Diabetes Care)により確保した世界広域に亘る販売網

- 業界最高水準の測定精度

技術開発力に支えられた高い測定精度と安定した品質

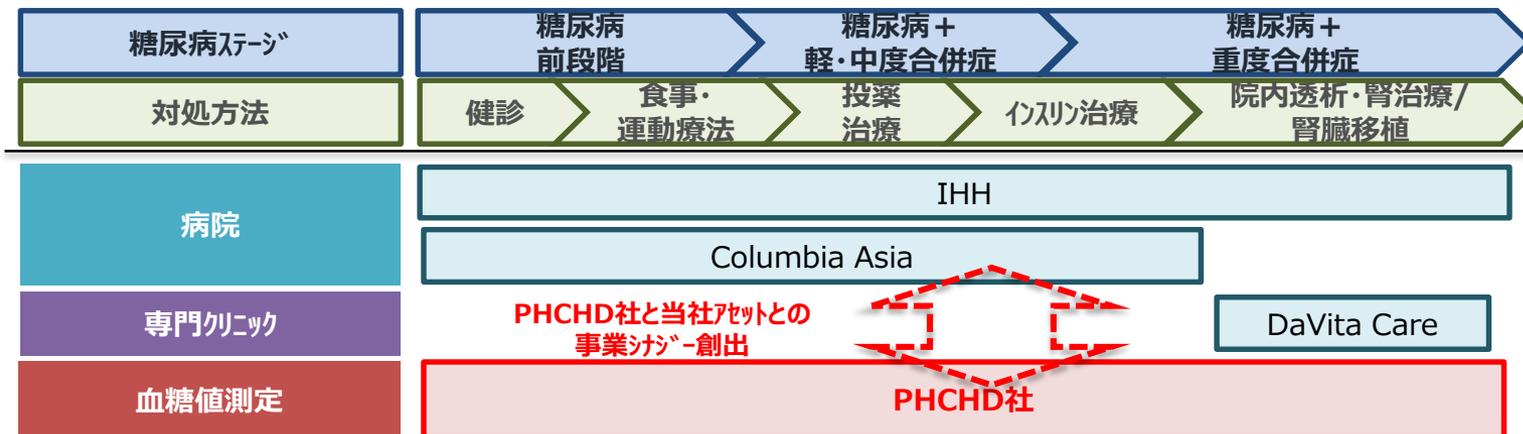
- コスト競争力を支える開発製造機能

血糖値センサーの生産ライン全自動化等によるコスト削減効果と、高い歩留りを通じた優位性ある製造コスト



5. 三井物産による企業価値貢献

〈糖尿病領域の疾患ステージと当社アセットの相関関係〉



〈企業価値貢献施策〉

1. アジアを中心としたPHCHD社の血糖値診断薬の販売促進支援

- 当社既存出資先の医療機関(IHH・Columbia Asia・DaVita Care)に属する医師や看護師のネットワーク活用
- 医療機関を巻き込んだ形での糖尿病・血糖値測定に関する啓蒙活動実施
- 当社の海外顧客、海外現地店のネットワーク活用による販路拡大



5. 三井物産による企業価値貢献

〈企業価値貢献施策〉

2. 糖尿病統合治療プログラムの推奨

- 血糖値データと治療・診断データを繋ぐことで、疾患のステージに合わせた最適な糖尿病の統合治療プログラムを提供
- 当社出資先医療機関側への集患機能強化により、当社ヘルスケア事業の更なる収益基盤の拡大を図る

3. 糖尿病領域におけるデータマネジメントによる新規事業創出(長期構想)

- データ集積、ビックデータ分析まで含めたデータマネジメント機能を具備
- 製薬会社や保険会社等外部ステークホルダーに対し新たな価値、新規サービスを提供



360° business innovation.



MITSUI & CO.